

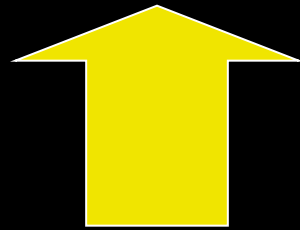
車椅子の移乗時の切り傷・ 擦り傷を防止するための フットレスト防護カバー使用 の取り組み

磐田市立総合病院（静岡県）

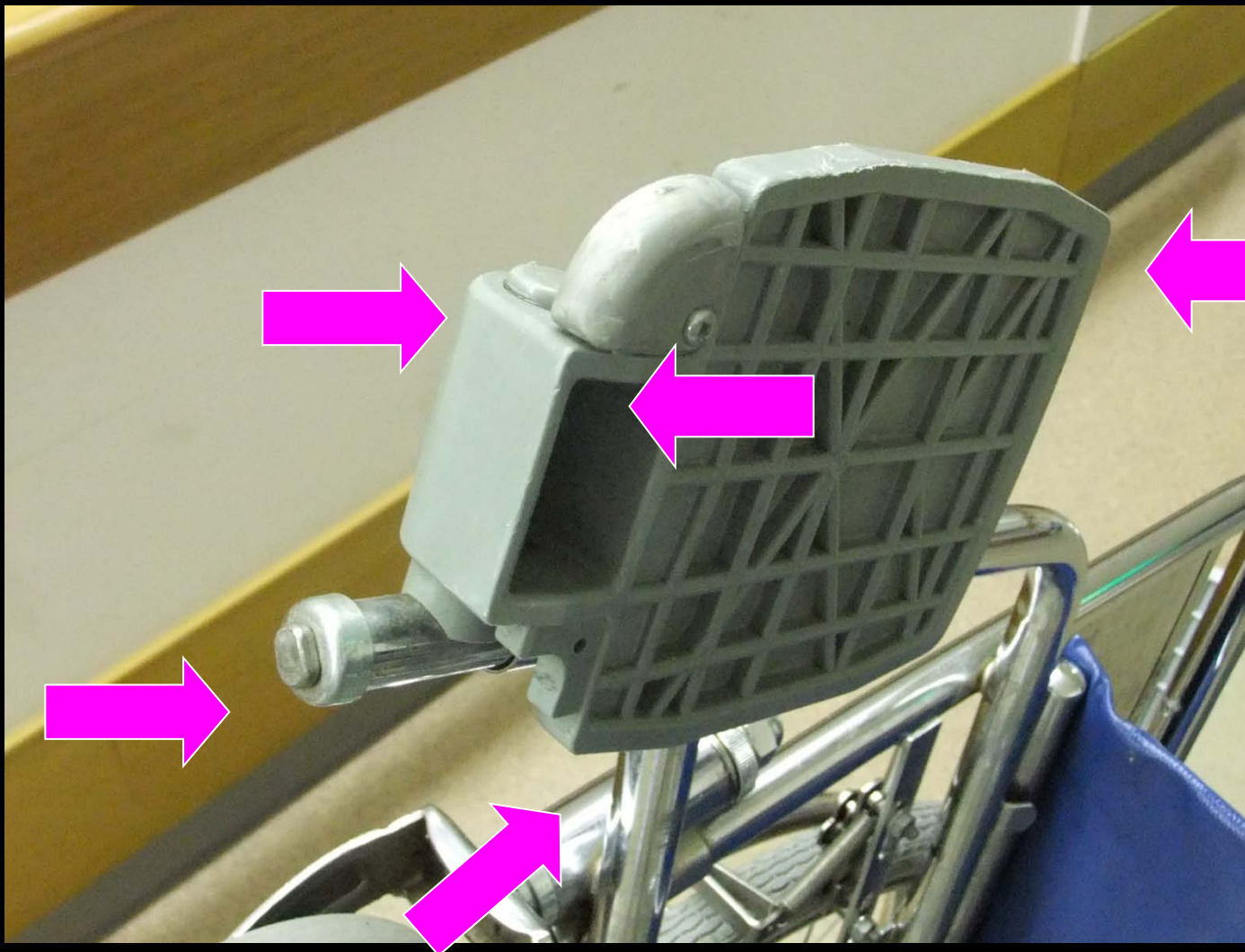
田中正宏、鷹野京子、河島徹、鈴木美保、松本友子、
坂上みえ子、井口ゆき枝

背景

- 車椅子への移乗時には切り傷・擦り傷を作る危険性がある



- なぜなら、車椅子のフットレスト周辺部分には突起物や角張った箇所があるからである。



・ フットレストを下から見た図

取り組み

- フットレスト部分の形状に合わせた防護カバーを作成した。
- 移乗が全介助の患者に対して防護カバーの使用テストを行った。
- 33名の看護師・ヘルパーに対して防護カバーの使用前後に意識調査を行った。



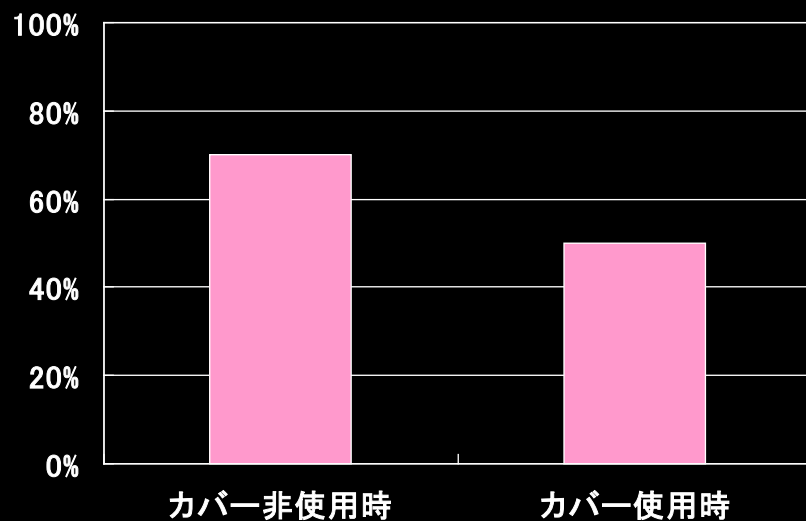
カバーの完成品

使用試験の方法と結果

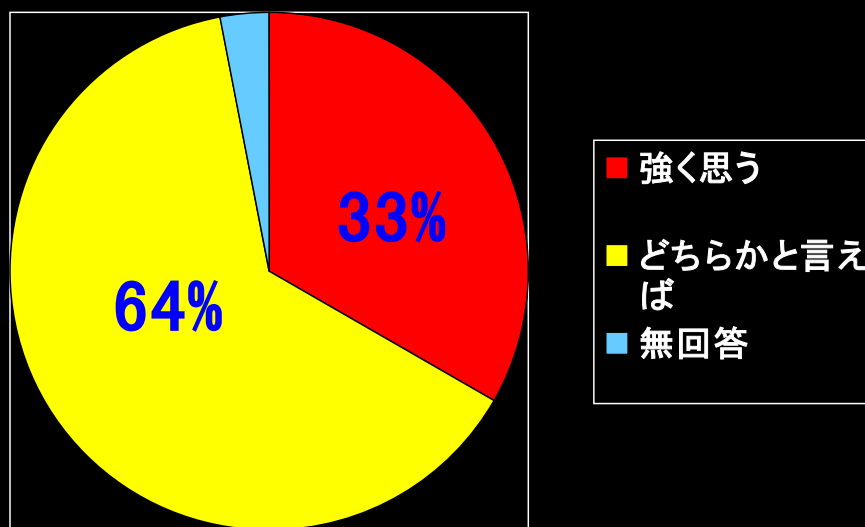
- 対象者： 神経内科入院中で移乗動作が全介助の患者4名
- 方 法： 同一患者で、カバー非装着時と装着時両方での移乗時における下腿の傷の有無を目視でチェックした。試験期間中の患者一人当たりの移乗回数は非装着時で7.8回、装着時で6.3回であった。
- 結 果： 4名合計でカバー非装着時31回、装着時25回の移乗動作を行ない、非装着時・装着時とも切り傷・擦り傷の発生は無かった。

カバー装着試験後の看護師・ヘルパーへのアンケートより

- Q1: カバーを使っても移乗時に傷を作る不安を感じるか？
- A: 「不安を感じる」との回答は、52% (カバー使用前は65%)。



- Q2: カバーは有った方が良いと思うか？（着脱やカバーの保守・管理を抜きにして考えた場合）
- A: 「有った方が良いと強く思う」 33%
「どちらかと言えば有った方が良い」 64%



- Q3: 自由回答(使用后アンケート)

A:不安はあるが、カバーが無いよりは不安が軽減されて良い。

A:意識することで注意のレベルが違う。

A:洗濯はいつ出せばいいのか。

A:清潔さを維持できるか。

考察

- カバーがNs.,ヘルパーの移乗時の不安を軽減した。複数人での介助による移乗をすることや、移乗技術の向上といった対策と組み合わせれば事故防止効果がより向上すると考えられる。
- 直接的な事故防止効果の他に、事故防止のための意識付けといった効果も見出せる。
- カバーの保守・管理や衛生面が実用に当たって課題となる。